

- マキロン s
- マキロン s ジェット&スプレー
- マキロン s キズ軟膏
- キシロ A 軟膏

【使用上の注意】

使用上の注意



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (3) 患部が広範囲の人
 - (4) 深い傷やひどいやけどの人
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書〔本品〕を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

| 関係部位 | 症 状 |
|------|--------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ、はれ |
3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合使用を中止し、この文書〔本品〕を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【使用法に関連する注意】

1. 使用法を厳守して下さい。
2. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させて下さい。
3. 目に入らないように注意して下さい。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗って下さい。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けて下さい。
4. 外用にのみ使用して下さい。
5. 顔面、粘膜等には直接噴射しないで下さい。
▶ マキロン s ジェット&スプレー

【解 説】

1.
 - (1) 共通事項解説〔4〕参照
 - (2) 共通事項解説〔7〕参照
 - (3) 患部が広範囲な場合は、できるだけ早く医師の治療を受けることが望ましい場合が多いので、自己判断で薬を塗布しないよう注意喚起しています。
 - (4) 深い傷やひどいやけどの場合は、細菌による感染や深部組織の損傷のおそれもありますので、専門医を受診して的確な投薬や処置を受ける必要があります。
2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに使用を中止し、使用している薬剤の成分等がわかる添付文書又は製品を持参の上、専門家に相談する必要があります。
3. 5～6日間使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、使用を中止し、専門家に相談する必要があります。
1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 共通事項解説〔9〕参照
3. 万一、目に入った場合、強い刺激を感じると共に、充血を起し腫脹をきたす等が考えられます。このような場合は直ちに目を水で洗い流し、薬を取り除いて下さい。また、水洗いしても刺激がいつまでも続いたり、涙が止まらない場合には、眼科医の診療を受けて下さい。
4. 定められた投与経路、適用部位以外への使用は思わぬ副作用や事故が発生するおそれがあります。
5. 目や口唇、粘膜等に本剤が付着すると、刺激により刺激感、充血、腫脹、疼痛等を起こすおそれがあります。

- マキロン s
- マキロン s ジェット&スプレー
- マキロン s キズ軟膏
- キシロ A 軟膏

【使用上の注意】

6. 患部やその周辺が汚れたまま使用しないで下さい。
▶キシロ A 軟膏

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない涼しい所に〔密栓して〕保管して下さい。
- 1'. 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管して下さい。(キャップがゆるんでいると、チューブの先端で軟膏が乾燥し固まる場合があります)
▶マキロン s キズ軟膏
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
▶マキロン s
▶マキロン s キズ軟膏
▶キシロ A 軟膏
4. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。
▶マキロン s ジェット&スプレー
▶マキロン s キズ軟膏
▶キシロ A 軟膏
- 4'. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。また、一度開封した後は、12カ月以内に使用してください。
▶マキロン s
5. 捨てるときは、屋外で噴射音が消えるまでガスを抜いて下さい。
▶マキロン s ジェット&スプレー
6. 持ち運びの際は、キャップが押され液が漏れることがありますので、密封できる袋等に入れて下さい。
▶マキロン s

【解 説】

6. 患部やその周囲に汚れが付着していると、細菌による感染等により症状が悪化する場合があります。
1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. 共通事項解説〔17〕参照
- 4'. 一度開封した製品は吸湿等により徐々に品質が劣化するので、品質保持の点から12カ月以内に使用する必要があります。
5. 容器内にガスが残っていると、容器が破裂して事故の原因となりかねませんので、捨てるときはガスを抜いて下さい。
6. 持ち運びの際、かばん等を汚さないようにするための注意です。
キャップが押されると、フタが開き液が漏れる可能性があります。